



大阪日々新聞紙

九三

東京下谷龍泉寺町三番地の

飯島常次郎とつゝ人の甘房と二人にて

老母への孝行をつつと至つて身の行ひ

よく暮して居り常次郎の

娘をさんも親を見習ふやう

十二小成りて今が至極おこさる

讀書縫ものをも精出し老母も両親も未だのゆ

おもひ近所の人も賞ぬものへ無いつゝ實に感心な

事有りやうと讀賣百七号の記

ふ日や

あ

甘の

晋子

文花堂誌



文花堂

寫士